作品名：おひなさまとおだいりさま 【ポプラ保育園】

みてみて みんなの作品展

0歳児

大きな模造紙に絵の具で「ぺたぺた」と色付け！ビニール袋には子どもたちがシールを貼って可愛いお洋服の完成。
子どもより大きなおひな様のできあがり！

1歳児

コップに花紙を丸めて入れて身体づくり！紙にはプチプチローラーと絵の具で模様をつけて素敵な椅子ができあがりましたよ♪

2歳児

コーヒーフィルターに絵の具で模様をつけてお洋服に！
個性豊かなお洋服ができました

★ワタル君のまちがいさがしはお休みです★

保険 自動車・火災 ガン・医療・生命保険 のことは
東京海上日動・東京海上日動あんしん生命保険代理店
（株）ディ・エフ・ピー提携代理店
TEL. 072-771-7277
FAX. 072-771-7278
（株）ティ・エフピー提携代理店は
社会福祉法人つむぎ福祉会の運動
を応援しています！
お気軽にご相談下さい!!

つむぎ福祉会ホームページ
http://www.tsumugigroup.net

◇◆ちいさな家から◆◇

新年度が始まり、様々な変化があると感じる。社会では、マスク任意、ヘルメット努力義務になったこと、会社では、集合型の法人総会、職場人員の変化などが身近に感じる変化だった。特にコロナ関連での変化は私にとって今後大きな変化になりそうだと感じる。コロナが流行ると同時の社会人1年目の入社。会議や研修は大体リモートだったり飲み会がないのが日常で素顔や画面に映る顔以外をほとんど知らないまま過ごしてきた3年間だった。今後、マスクのない顔や飲み会、他事業とのリアル交流など、4年前の社会人の日常を味わうことができるのはわくわくドキドキする。あらゆる変化を受け入れながら、仕事もプライベートも楽しんで過ごして生きたい。

東大阪事業所　中川　菜摘

2023年4･5･6月 №98 編集・発行 社会福祉法人つむぎ福祉会　編集者 中谷路子　発行者 石井 守
〒546-0031 大阪市東住吉区田辺6-4-1 TEL.06-6625-8253 FAX.06-6625-8257

つむぎ福祉会のロゴは綿を紡ぐさまをイメージすると同時に 笑顔を表しています

つむぐ

社会福祉法人
つむぎ福祉会

2023年4･5･6月号 №. 98

「公園清掃の桜」青年の自立支援センターゆう

「お花見」ポンチセぴりか・第2ぴりか作業所

「入園･進級式」ポプラ保育園

新しい年度を
迎えました

「すべりだい」千代崎ポプラ保育園

「お花見」そらまめ作業所

「お花見」生活介護 Kakara

もくじ

1. 新しい年度を迎えました
2. 主張：
各場面でオープンダイアローグを意識して
3. 職員研修「日本経済の現状と課題
私たちはどんな社会をめざすのか」
4. 5. 2023年度法人職員全体総会
6. 法人全体総会に参加して
7. 永年勤続職員紹介 勤続10年･5年
8. みんなの作品展(ポプラ保育園)･編集後記
別刷：すきつながり「読書」

各場面でオープンダイアローグを意識して

理事長　石井　守

２０２３年5月8日より、
新型コロナ感染症はインフルエンザ
同様の５類の扱いになります。

感染の危険に注意しながら、
新たな決意で２０２３年度に
向っていきましょう。

「見えないものの価値」を大切に

この暗かった数年の間につむぎ福祉会は大きな仕事をしました。それは、酒井先生のご指導を受けて、オープンダイアローグを組織として学び、対話実践を継続してきたこと、「オープンダイアローグ勉強会」が二年も続いたことです。これを「どんな成果をあげたのか」とか「何も残していないし、見えない」などと、疑問持つ人は多いかと思います。形の見えない「思想や考え方」が主体のオープンダイアローグは、ＩＰＳ細胞やがん治療のオプジーボ発明のように、形あるものを創り出したり、スポーツのように特定の技術や力を結果などとして見ることのできるものとは違います。どうしても具体的に見えませんから、疑問を持たれがちです。社会的一般的に評価されるまで長い年月がかかります。

オープンダイアローグは言い換えれば「オープンダイアローグの思想」であり考え方や感じ方です。民主主義の思想と同じです。民主主義は今でこそ一般的に認められ、平和や個人の人格などが普遍的に語られる時代になりましたが、日本ではこれはそんなに昔ではありません。長い年月の末、やっと世界に定着してきた思想・考えであり、世界ではまだいくつもの国で認められていないではありませんか。

対話からコミュニティを深める

オープンダイアローグは必ず将来高く評価され世界中に普遍化すると私は信じています。しかしこの道は今始まったばかりです。未だ一般化していないこの時代に、オープンダイアローグに個人ではなく組織として継続して取り組んだということは素晴らしいことです。今は評価されませんが、必ず後世において高く評価されること間違いないと思います。

自信をもってオープンダイアローグ実践を「つむぎ福祉会」を挙げて取り組んで各部署でどのようにオープンダイアローグを活かすか話し合い、法人の内外の交流を深めてその方法を工夫して頂きたいと思います。

オープンダイアローグ実践でどんな問題が起こるのでしょうか。障がい者や保育支援に使って何が不都合な問題が起きるでしょうか。「成果」「実績」は見えなくても話し合いを濃密にしてコミュニティが深まるのです。

お互いを尊重し合う社会の実現を

精神疾患の治療法としての日本での利用法は必ず期待できると思います。フィンランドでできたことが日本でできないはずはないと考えるからです。しかし、福祉やひきこもりに活かす方法がつむぎ福祉会の限られた実践で成果として証明されたり、方式がみつかることが期待できないかもしれませんが、まずはつむぎ福祉会で実践していることが周りに知らされることの意味が大きく、他の世界に広まることを期待しています。

法人内外で、オープンダイアローグを学び実践し、お互いを尊重し合い、多様な意見が大切にされる社会を目指していきましょう。

永年勤続職員紹介

勤続10・5年を迎えてひと言

2023年3月末現在

勤続10年　南　真喜子（グループホーム事業）

本当に沢山の方々に支えられ、助けて頂いた10年間でした。まだまだ至らないことも多いですが、少しずつでも、そのお返しができるように頑張っていきたいです。

勤続10年　吉村　沙希（ポプラ保育園）

あの時受かっていなければ保育士はしていなかったです。職場の先生方、保護者の皆さん、素敵な子どもたちに出会えたこと感謝の気持ちでいっぱいです!!

勤続10年　酒井　美和（東大阪事業所）

変化していく世の中に自分も変化していけるように、これからも〝元気に楽しく〟をモットーに職員の皆さん、利用者の皆さんと一緒にがんばります！

勤続10年　小松ルリ子（グループホーム事業）

利用者さんと一緒に成長させていただいた10年でした。思い出深い出来事がいっぱいです。これからまたさらに10年一緒に楽しく成長出来るよう頑張ります！

勤続5年　木原　真世（東大阪事業所）

あっという間の5年でした。スタッフの方々に助けられて、若者の就労支援をしてきました。これからも、ご本人が納得できる進路を選べるよう支援していきます。

勤続5年　楠田　佳純（千代崎ポプラ保育園）

頼れる先輩方や可愛い子どもたちの笑顔に囲まれてあっという間の5年でした。これからも日々勉強をしながら保育の仕事を頑張っていきたいと思います。

勤続5年　森本有佳里（千代崎ポプラ保育園）

職場で色々と教えて頂いたり、子ども達からも学ぶことが沢山ありました。5年で私自身も少しずつ成長ができました。何事にも前向きに取り組めるように頑張りたい。

勤続5年　今西　智香（千代崎ポプラ保育園）

ハイハイをしていた子が来年卒園を迎えます。成長を見届けられたこと嬉しく思います。日々成長する子ども達と私も一緒にこれからも成長していきたいと思います。

勤続5年　大森　未来（ポプラ保育園）

毎日子ども達と関わり、成長をたくさん見る事ができました。これからもたくさん子ども達と色々な経験をし、一緒に成長していきたいと思います。

勤続5年　苦名　裕二（グループホーム事業）

入職してグループホームの仕事に携わったのが障がい者支援の始まりでした。今後も皆さんと協力しながらより良い支援が出来るように頑張りたいと思います。

勤続5年　大谷　歩（グループホーム事業）

沢山の方々に支えられて今の自分があると思います。しんどかった時そっと寄り添ってくれる職場の方や僕を笑顔にしてくれる利用者さん。言葉では表せないぐらい感謝の気持ちでいっぱいです。

勤続5年　川崎　真吾（ヘルパー事業）

自分の出来ることを精一杯頑張り、利用者さんが楽しく過ごせるように努めていきたいと思います。

勤続5年　小林　由季（ポンチセぴりか）

戸惑いと不安でいっぱいだった頃からもう5年が経ちました。今の私がいるのは、たくさんの方々の支えのおかげです。この感謝の気持ちを返していけるよう今後も頑張ります。

今日から法人の一員に

法人総会に初めて出席して、法人全体が集まると圧巻でした。自分もここの法人の一員になるんだと思うと、頑張ろうと思いました。新入職員の紹介の時はとても緊張しました。

それぞれの事業所やPT活動の発表を聞いて、他の事業所がどのような支援や目標を持っているのか知ることができたり、どのようなPT活動を行って、どのように進めているのか知ることができて、自分の今後の支援の仕方や目標、PT活動への取り組みの参考にしようと思います。

経済に関して、ニュースや記事を見ているだけでは分からない深い部分・切り込んだ部分の話が聞けて良かったです。

他の事業所との交流や情報交換の場になるので集まることによって、互いのモチベーションアップにも繋がるような気がします。顔見知りが増えるといいなと思います。次回の総会も楽しみです。

【そらまめ作業所　青木　月望】

学びの多い法人総会

理事長からつむぎ福祉会で働く職員、講師の方まで、普段聞くことのできない話をたくさん聞くことができ、とても良い機会になりました。今回報告会で行ったような、「何をしたのか」「次回に向けてどのようにしたら良いのか」など明確にすることで、より良い環境・社会づくりを行っていけるのだと実感しました。そして、つむぎ福祉会は、熱意を持った一人一人が様々な役割を担い、協力し合って成り立っているのだと感じました。このような素敵なところで働くことができて良かったと思いました。松浦章先生の話を聞いて、今の日本の経済は悪い方向へ行っていると知ることができました。今後の生活の為にも賃金を上げて、経済を円滑に回して豊かな生活を送れるようになると良いなと率直に思いました。

【千代崎ポプラ保育園　白井　佐依】

～2023年度～

社会福祉法人つむぎ福祉会　法人職員全体総会

職員研修

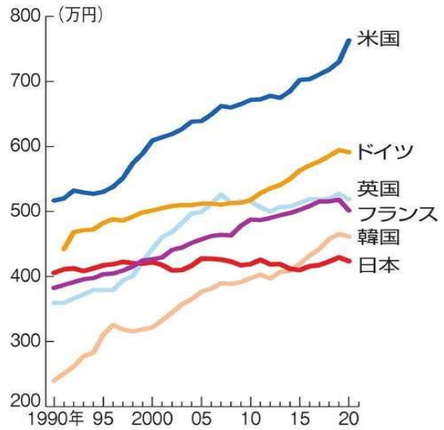
日本経済の現状と課題

～私たちはどんな社会をめざすのか～

講師　：　松浦　章氏
［兵庫県立大学国際商経学部・客員研究員］

日本経済の視点から、日本の現状とめざすべき方向について考える機会になりました。世間では賃上げが話題となっていますが、その前提条件は「効率化と生産性の向上」です。「労働集約型産業」である福祉労働とは、相容れないものがあります。コロナ禍にあって、「エッセンシャルワーカー」と評価されましたが、実態は変わっていません。エッセンシャルワーカーはじめ、労働者の賃金が上がり、長時間労働がなくなる社会こそが、私たちがめざす社会であると思います。

主要国の平均賃金（年収）の推移　OECD調べ



（2021/10/20「朝日新聞デジタル」）

◇◆30年間上がらない日本の賃金にびっくり！◆◇

―研修を受けて―

失われた20年を取り戻すには･･･
生活者に寄り添った転換を

私は就職氷河期世代（いわゆるロスト・ジェネレーション）。こぼれ落ちる人々が「自己責任」と一蹴された世代です。富裕層と大企業は私腹を肥やす一方、庶民は低賃金、長時間労働、消費税や社会保険料の高騰で、格差が広がる20年間でした。

新自由主義路線に乗った資本主義の下、軽視されたのが「ケア労働」です。保育、教育、介護、医療は、いのちと生活に直結する重要な分野であるはず。しかし国は、「経済成長」や「国際競争力」を優先。待機児童、老老・老障介護、ヤングケアラーという社会問題は深刻化の一途でした。これらの矛盾を、コロナ禍でさらに拡大させました。

保健所の統廃合や病床削減でしわ寄せは社会的弱者に向けられ、大阪の死者数は異常な水準に。それは今の政治が人の命や暮らしをいかに大切にしないかを浮き彫りにしました。

#Black lives matter として広がった人種差別への怒りや、東京五輪、W杯などが隠す闇（環境破壊、障害者差別、女性蔑視、入管問題と移民労働力の搾取、収賄汚職）も同根です。

お話を聞いて、今後の行政を一層注視する必要性を感じました。大阪では合理化と効率化で「公」を縮小し、民間へとしましたが、これがケアの現場での正しい改革でしょうか。カジノとIRも万博も誰のための政策なのか。ケア労働と市場論理との相入れなさや、その価値を知る私たちこそ見極めていかねばと強く感じました。

【そらまめ作業所　油田　美野里】

4年ぶりの対面＆ZOOMハイブリッド 法人職員全体総会

2023 年度の法人職員全体総会は、4 年ぶりのハイブリッド開催（会場 86 名、4 カ所から zoom 参加）で、行うことができました。ハイブリッド開催にすることで、業務の合間を縫って参加することもでき、この 4 年間の経験を生かすことができました。3 年前に入職した職員にとっては、初めての経験となり、入社式から始まり、研修、法人事業報告、委員会や事業所報告、永年勤続者の表彰などどれも新鮮で、参加者全員がこの 1 年頑張っていこうと思いを新たにすることができました。

ZOOMと対面式の様子

永年勤続者表彰式

法人全体総会・職員研修に参加して

対面の大切さを痛感

私が入職したのが3年前だったので、このような形での総会には初めての参加でした。リモートで参加した時よりも実際に同じ会場に集まると同じ法人で働いている人の多さに驚きました。

また、リモートよりも研修や報告を聞くことに身の入り方も自然と違い、対面で行えることの大切さを改めて感じました。

研修の内容は政治や経済のことだったので、自分の力では中々変えることはできないこともありますが、変えてくれるような社会を作ってくれる政治家を選ぶことは有権者の自分にできることなのかと思ったと同時に、自分たちの仕事は社会には大切な仕事だということを胸に、日々の保育に臨もうと思いました。

理事長や各委員の方々の話では、やはりオープンダイアローグが一番印象的で、私自身も何度か参加させていただいたこともあったのですが、その頃よりも目標を変え、参加メンバーの関係も深まり向上していっているとのことで感心し、自分も参加し続けていれば色々な形のODを体験できたのかなと思いました。

各事業所の方々の話を聞き、改めてつむぎ福祉会の職員として、子ども達、そして社会に貢献できる人でありたいと思いました。

【千代崎ポプラ保育園　岸田　史帆】

PT委員会・各事業所からの報告 の一部を紹介

広報委員会は、特に力を入れた就活生への広報活動を中心に、昨年度の活動報告をされました。

つむぎ福祉研究所からオープンダイアローグの取り組みについて報告されました。

保育園では昨年２園合同で「造形」の連続研修を４回かけて行い、今後の保育に生かせる多くの学びがあったことを報告されました。

昨年新たに新設された**グループホームポピー**の成り立ちや取り組み、今後の展望について報告されました。

法人全体総会・職員研修に参加して

理解深まる法人総会

今回の総会で資料を一新されたことで見やすく分かりやすくなっていました。また、各ＰＴの話は会議などで報告があり、聞いているが資料をもとに話を聞くことでより分かりやすいと感じました。同じ福祉と言っても保育と障害は全くと言っていいほど別の物だと感じることも多い中、総会をすることで他事業所がどんなことをしているのか、保育ではどんなことをしているのかを知り、知ってもらうことでお互いをよく知り、理解が深まると感じました。

研修内容としては普段知りえないことを知ることができたのはとても勉強になり、良かったです。

外部の先生から話を聞くことでいろいろな情報を聞く事が出来、勉強になります。

普段の研修では保育に関連した研修になるので、この場で専門分野以外のことを外部の講師の先生から話を聞く事が出来るのはとてもいい機会だと感じています。

【ポプラ保育園　守谷　由香】

オープンダイアローグの活用

久ぶりに対面で実施された法人総会の雰囲気に少し懐かしさを感じました。ＺＯＯＭ開催もよかったですが、他事業所の職員との交流や新入職員・永年勤続職員を直接、歓迎・祝うことができるのは、対面で開催する良さだなと思いました。

総会の中で、ODに関する内容が何度か取り上げられていました。私が所属する青年の自立支援センターゆうでは、ケース会議や職員会議の際に、ODの取り組みを実施しています。

また、ゆうにはカウンセリングについて学びたいという希望を持っておられる利用者さんがおられ、その利用者さんの「なぜカウンセリングを学びたいのか」「どのように活かしていきたいのか」というお話がODに合っているのではないかと思い提案しました。４月に１回目の取り組みとして、ODの歴史と体験型ワークを実施したところ、とても興味をもってくださいました。法人でもゆうでもODが広まっていくといいなと思います。

【青年の自立支援センターゆう　坂野　知可子】

※OD：オープンダイアローグ　※PT：プロジェクトチーム